



2026年6月

会社説明資料

カメイ株式会社

東証プライム 8037

目次

01	会社概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.3
02	各セグメントの概要	・・・・・・・・	P.12
03	非財務的価値への取組み	・・・・・・・・	P.24

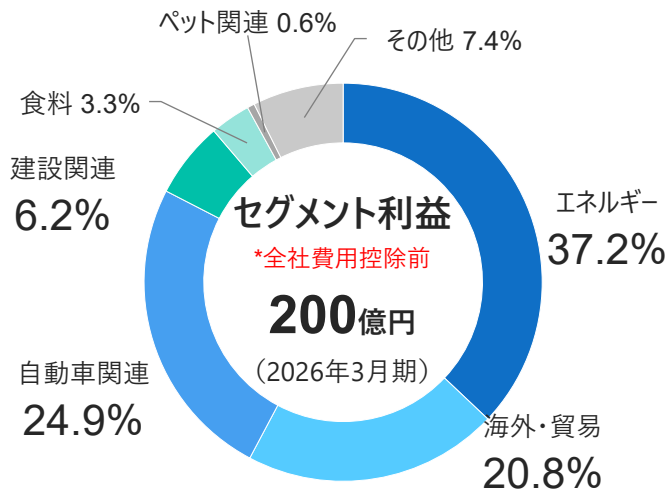
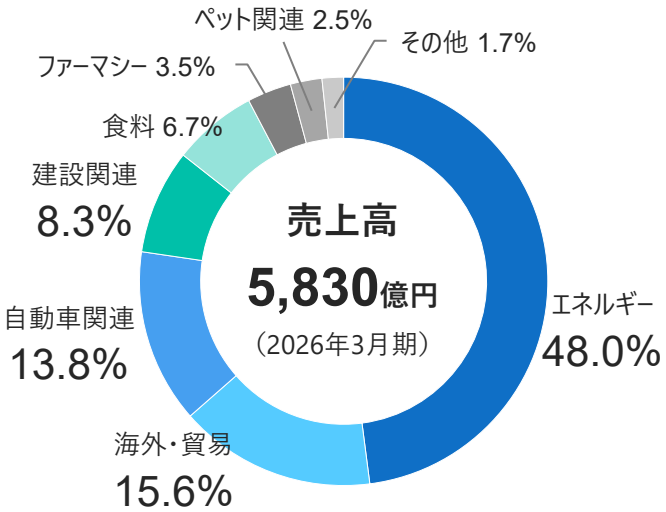
01 会社概要

KAMEI



■ 1903年創業（創業123年）。東北を中心に生活基盤を支える地域密着型の総合商社。全国及び海外に約100拠点

会社名	カメイ株式会社（KAMEI CORPORATION）	
事業内容	卸売業 （エネルギー、食料、建設関連、自動車関連、海外・貿易、ペット関連、ファーマシー、他）	
創業・設立	創業：1903年7月 設立：1932年12月29日	
代表取締役	代表取締役会長 CEO 代表取締役社長	亀井 文行 亀井 昭男
所在地	宮城県仙台市青葉区国分町3丁目1-18	
資本金	81億3,200百万円（2026年3月末）	
グループ会社数	83社（国内55社、海外28社）（2026年4月1日現在）	
証券コード・ 上場市場	8037 東証プライム市場 （1986年10月東証第二部、1988年6月東証第一部上場）	





創業

123年

1903年(明治36年)宮城県塩釜で創業

従業員数

5,015名 (連結)

1,589名 (単体)

連結子会社数

56社

内、海外法人24社

連結売上高

5,830億円

連結営業利益(率)

169億円
(2.9%)

連結総資産

3,310億円

連結純資産

1,783億円

連結効率性指標

ROE 7.2%

ROA 3.7%

時価総額

1,189億円

(2026年5月29日現在)

■ 日本近代化の歴史の中で、東北地方の成長・発展と共に歩み続けてきた会社

宮城県塩竈で雑貨商
「亀井商店」として創業



1932年
(昭和7年)

株式会社へ改組、
法人化



◎ 1903年

(明治36年)

1

各種製品・サービスで全国ブランドの
会社と東北地域の特約店販売契約
を締結してきた歴史

石油製品

1908年 日本石油（現ENEOS）
1949年 ガソリンスタンド、1955年 LPガス販売開始

自動車

日本フォード自動車：米国フォード社現法
仙台トヨペット販売：現仙台トヨペット

酒類・飲料

麒麟麦酒（キリンビール）
仙台飲料：仙台コカ・コーラ
ボトリングへ改称

セメント

東北セメント
：現太平洋セメント

◎ 1933年

1937年

2

◎ 2000年～

主力商材から関連商材、
新規商材へと発展してきた歴史

リビング商品、保険代理店、
化成品販売、ファーマシー事業への参入



3

◎ 2006年～

M&Aによる積極的な投資戦略で
事業拡大（2006年～本格化）

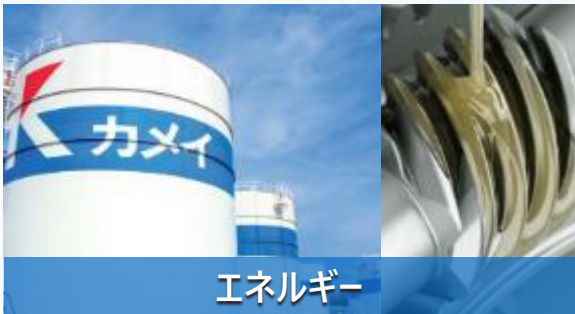
50社以上への事業投資を実現、
海外事業の拡大、ペット関連事業へも参入



◎ さらなる
社業の発展へ

■ 事業展開する地域社会に密着した広範な商材・サービスが提供可能。B to BとB to C 双方を展開

国内



海外・貿易

+



1973年3月

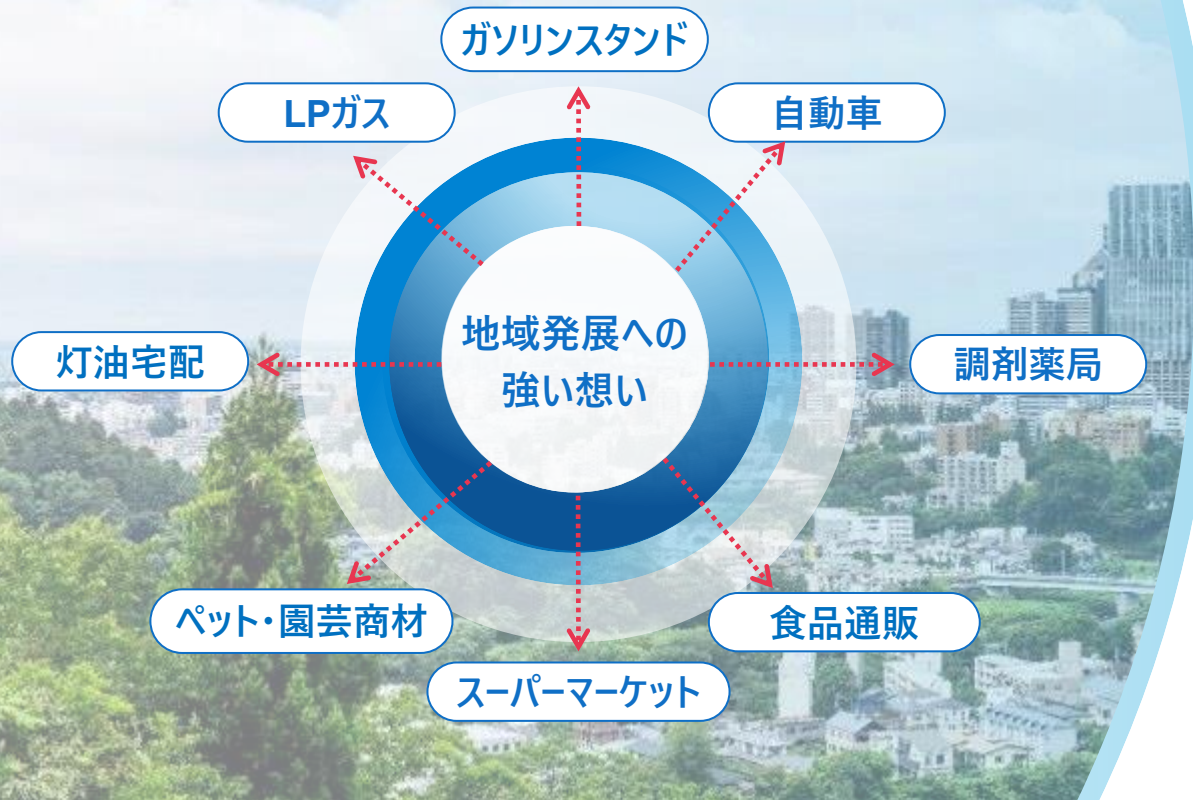
アメリカ・ロサンゼルスに海外現法
カメイ・ショウテン・オブ・アメリカ設立
貿易事業を開始

■ 国内は東北全域と関東を中心に全国、海外は北米・アジア（シンガポール・ベトナム等）で展開



- 時代の変遷と共に変化するお客様が求める日常サービス・製品をタイムリーに提供していくことで、サービス・製品提供力を強化し、事業を拡大。結果的に多様な事業で「**地域ドミナントを実現**」する

地域の暮らしを支える多様な生活資源を幅広く、総合的に調達し、直接供給する



業務エリア・地域の生活に根をおろし、密着し役立つ「**ピープルズ・カンパニー**」

地域に根差した強固なポジショニング

東北でシェア1位の事業

- 産業用燃料取扱量
- LPガス取扱量
- ENEOSガソリンスタンド店舗数、バッテリー・タイヤ取扱量
 - * 元売り資本の入っていない、独立系運営事業者として
- カーコーティングプロショップ店舗数（KeePer技研直営を除く）
 - * KeePer技研全国コンテスト優勝者、準優勝者在籍

* 自社の調査による

ビジネスモデル②：多彩な事業を時代のニーズに応じて展開

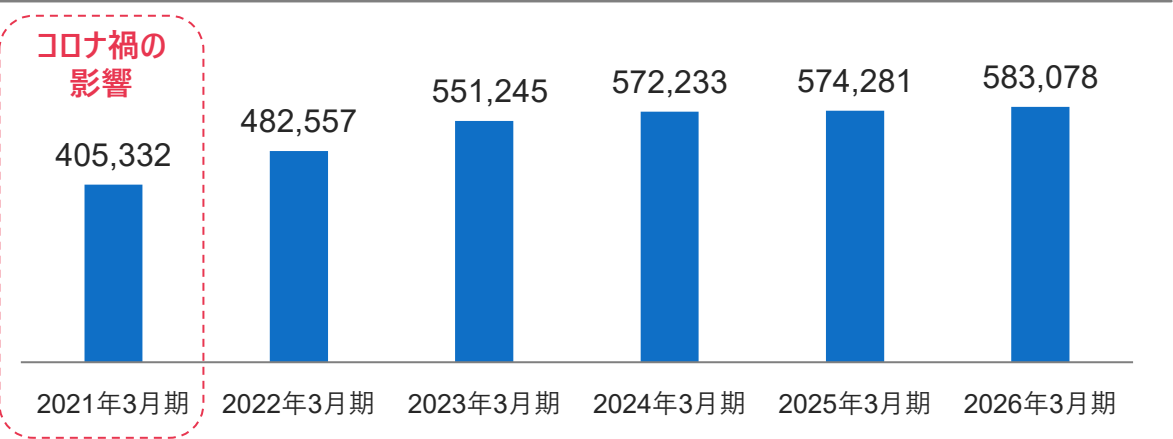


■時代のニーズに応じて、次々に商材を開拓、持続的成長を実現

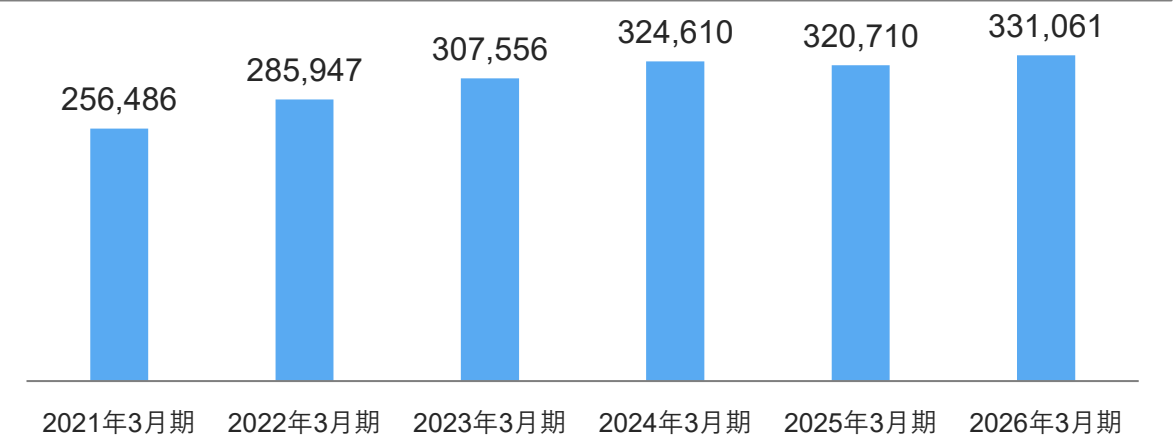




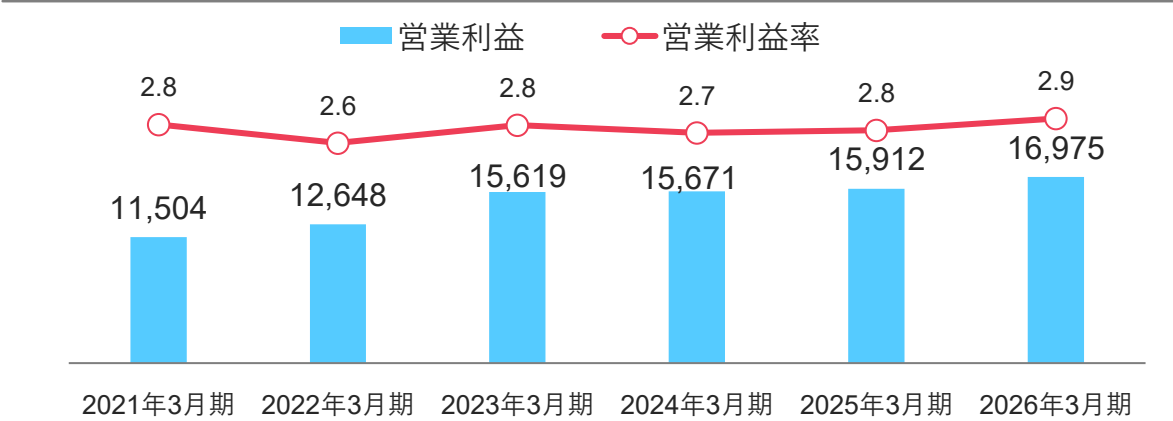
売上高(百万円)



総資産(百万円)

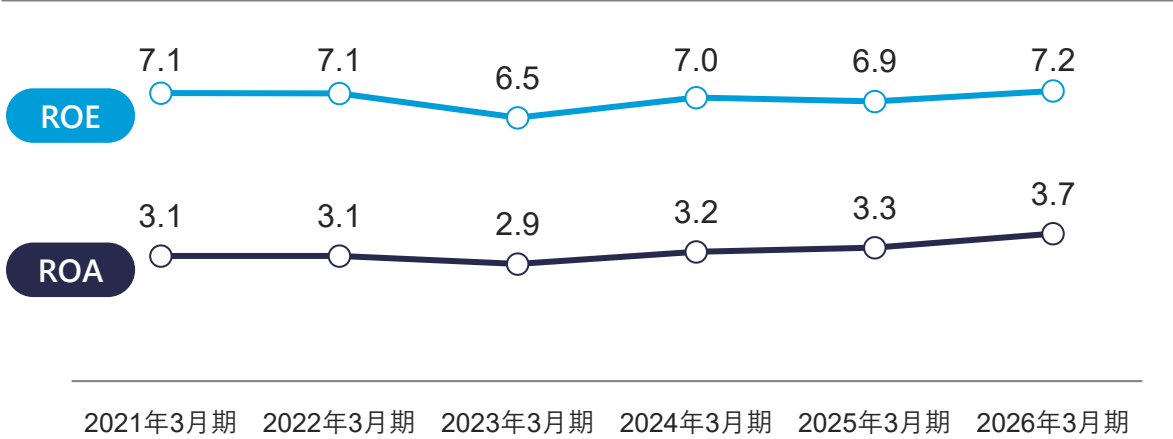


営業利益(百万円,%)



ROEとROA(%)

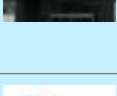
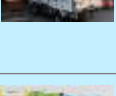
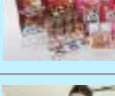
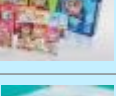
資本効率性の改善が課題



02 各セグメントの概要

KAMEI



			2026年3月期構成比*	事業概要（グループ会社含む）
エネルギー	  	売上高 セグメント利益	48.0% 37.2%	ENEOSなどの特約店としてガソリン、灯油、軽油、重油、LPガスを販売するほか、太陽光発電、LED、空調設備、高効率給湯設備などの環境商材を販売。ガソリンスタンドのほか、カーコーティングプロショップを運営。
食料	  	売上高 セグメント利益	6.7% 3.3%	農水産品（米穀類等）、畜産品（牛タン等）、ビール、ワイン、清酒等を販売するほか、スーパーマーケットやフランチャイズ店舗等の運営。米穀類の精米及び販売。ビールやワインを輸入販売。高級洋菓子原材料を輸入。また、食肉の加工製造及び販売。
建設関連	  	売上高 セグメント利益	8.3% 6.2%	2021年3月期から住宅関連→建設関連にセグメント名称を変更。キッチン、ユニットバス等の住宅設備機器及び鋼材・土木資材等の基礎資材を販売。リフォーム事業を展開するほか、鉄骨・ソーラーの専門工事業者として設計・施工を実施。
自動車関連	  	売上高 セグメント利益	13.8% 24.9%	最大手国産メーカー車を販売するほか、欧州製輸入車を販売し、レンタカー及びカーリース事業も展開。
海外・貿易	  	売上高 セグメント利益	15.6% 20.8%	多様な事業を海外・貿易で展開。中国及び東南アジア向けにベアリング、電装部品を輸出するほか、ロシアから水産物（鮭、鱈、カニ等）を輸入。米国においてスーパーマーケットを運営。シンガポールにおいて船舶用潤滑油の保管・輸送・納入。海外での船舶用燃料油を供給。食料品等の輸出入業。ベトナムにおいてワインの輸入卸販売。また、カジュアルシューズやアパレル用品を輸入。
ペット関連	  	売上高 セグメント利益	2.5% 0.6%	ペットフード、ペット用品、園芸資材の販売。プライベートブランドの開発・輸入を行うほか、企画・販売促進のコンサルティングサービス等を実施。
ファーマシー	  	売上高 セグメント利益	3.5% —	調剤薬局を運営し、処方薬及び一般医薬品を販売するほか、在宅医療や介護関連事業の訪問介護、通所介護等を実施。
その他		売上高 セグメント利益	1.7% 7.4%	オフィス機器の販売、運送業、不動産賃貸業、保険代理店業、リース業等を展開

（* セグメントに分類されない全社費用を含まない営業利益合計値）

本社とグループ会社で7つの報告セグメントを構成

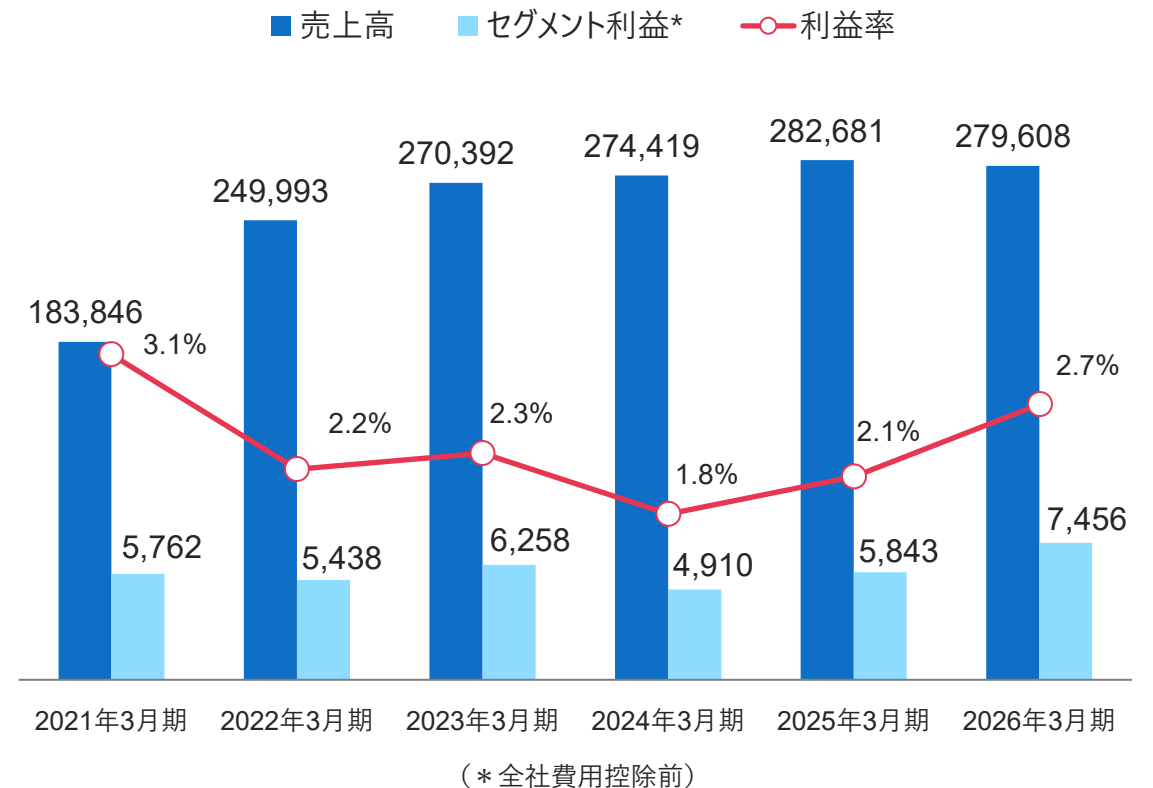


セグメント	エネルギー	食料	建設関連	自動車関連	海外・貿易	ペット関連	ファーマシー	その他
カメイ本社 構成部門	法人営業部 (石油製品・関連商材) - 石油製品 - 次世代バイオ燃料 - 産業資機材 - 化学品	食料部 - 酒類・飲料 - 畜産品 - 農水産品 - 通信販売 - スーパーマーケット運営 - FC店舗運営 - ケータリングサービス - ふるさと納税商品開発・企画	ホーム事業部 (住宅設備・リフォーム) - 住宅設備機器 - リフォーム				ヘルスケア事業部 調剤薬局の運営	法人営業部 (オフィス商材・保険) - オフィス関連・システム - 各種保険
	ホーム事業部 (LPガス・灯油・関連商材) - プロパンガス - 灯油宅配 - ガス小売 - ガス機器・省エネ商材 - 保安事業		建設事業部 - 鉄骨工事 - 土木資材 - 環境エネルギー - 基礎資材 - 建設関連商材					カメイ (賃貸)
	カーライフ事業部 - ガソリンスタンド - 洗車・カーコーティング - 車検・整備 - カーメンテナンス商品 - カーリース							
連結子会社	- LPガス販売 - 住宅設備機器販売 - 都市ガス配管工事	- ワイン、ビール等輸入 - 菓子類輸入 - 食肉・精米加工 - 農産品卸	- 建築設計監理 - 土木資材卸 - シールド工事 - プラント製造	- 国産車・輸入車販売 - レンタカー、リース	- スポーツ用品輸入 - 産業機材輸出入 - 酒類・食品輸出入 - 米国スーパー運営 - 船舶用燃料販売・輸送	ペットフード・用品、園芸資材卸	- 調剤薬局の運営 - 介護サービス - 医療機器卸	- 各種リース、旅行代理店 - 物流、倉庫業 - オフィス関連・システム
	計 2社	計 8社	計 4社	計 6社	計 26社	1社	計 6社	計 3社

- 三陸地方漁船への燃料供給、1908年の旧日本石油の販売代理店から本格スタートした祖業。当社事業の中核
- 全社売上の約5割、セグメント利益の約4割（2026年3月期）
- 石油製品・LPガス販売、ガソリンスタンド運営が主体だが、太陽光発電、バイオディーゼル燃料提供も展開
- (株)設備センター（仙台市）の株式を取得（2025年2月）、末広ガス(株)（前橋市）の株式を取得（同 8月）



売上高とセグメント利益(率)の推移 (百万円)



- 1933年に麒麟麦酒（キリンビール）の特約販売店となり事業拡大
- コカ・コーラ社より、南東北のボトリング事業の権利を取得し、営業展開（2015年まで）
- 酒類や農畜産品等の卸販売から、近年では高齢者施設への食事提供サービス、地域特産品の企画・開発中心のふるさと納税事業や外食事業にも進出。食品加工メーカーや製菓材料輸入のM & A も



酒類



農産・畜産

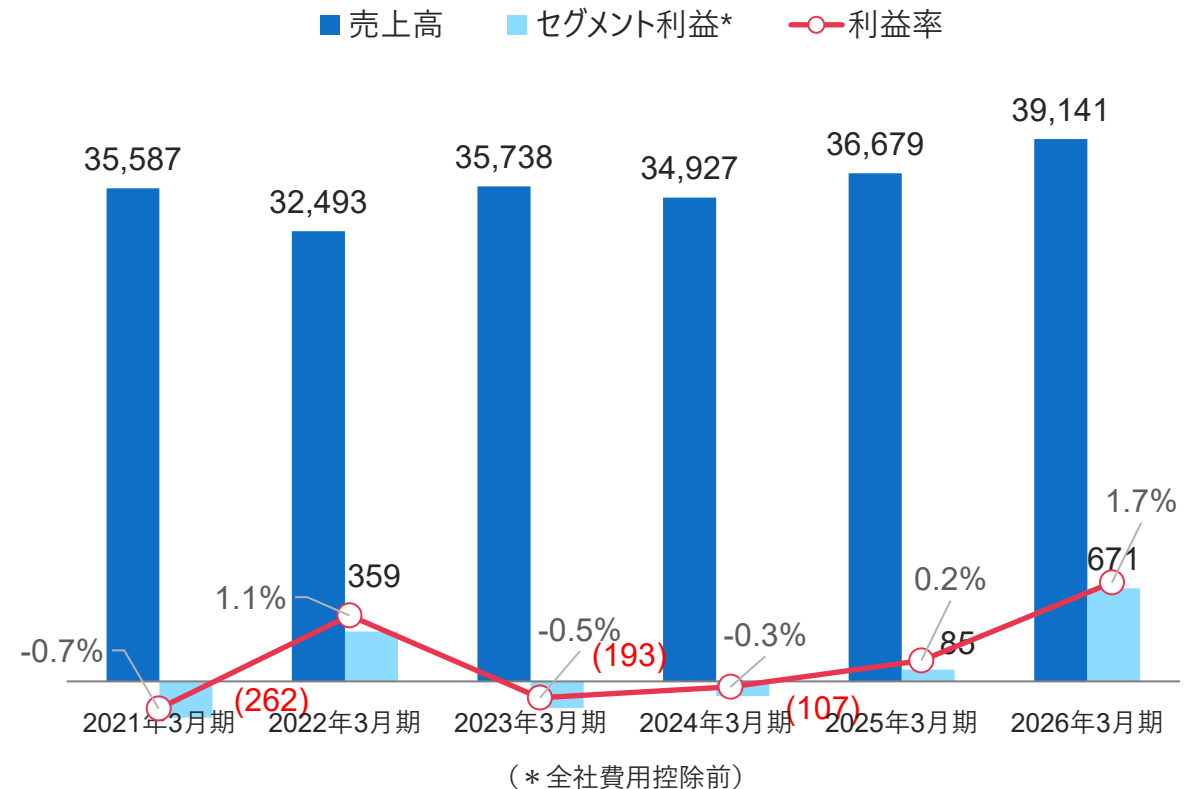


ヘルスケア事業



ふるさと納税事業

売上高とセグメント利益(率)の推移 (百万円)



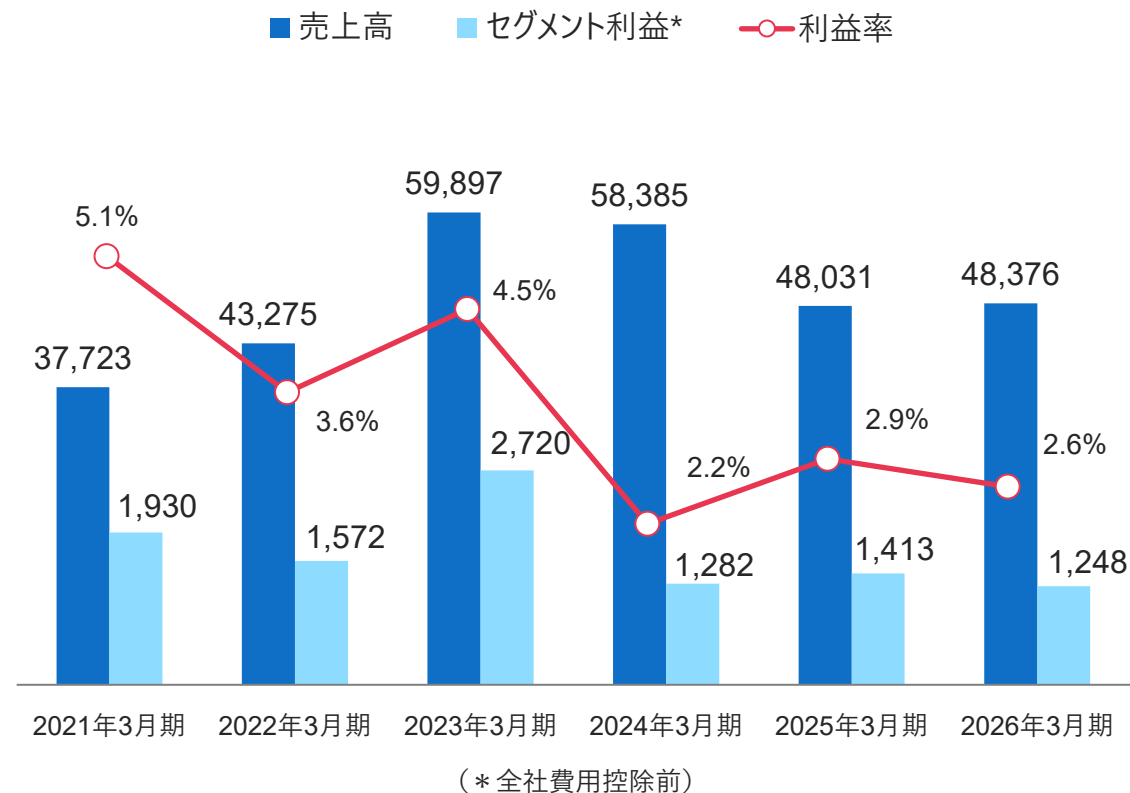
■ 住宅設備機器の卸売販売からスタート（旧セグメント名は、「住宅関連」）

■ 個人向け事業から法人向け事業へと発展。

住宅資材・設備から建設資材へと対象商品が、そして資材販売から工事請負へと事業内容が変遷



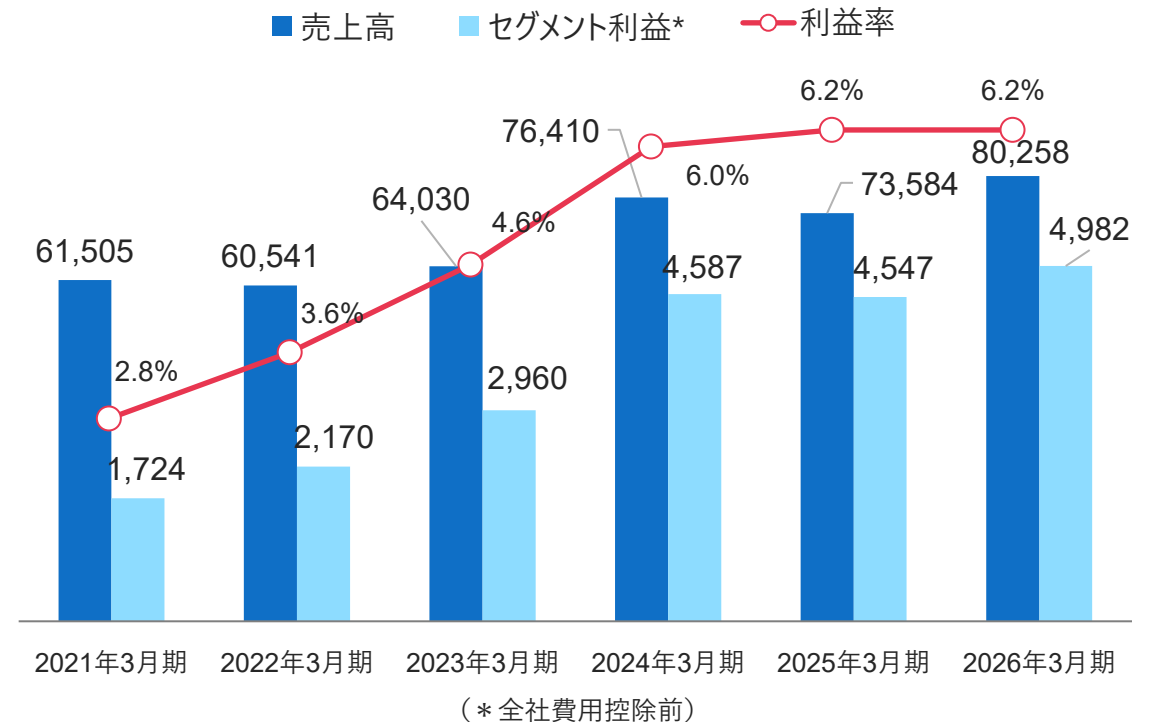
売上高とセグメント利益(率)の推移 (百万円)



- 1932年（第二次世界大戦前）の米フォード車の輸入・販売からスタートした祖業の一つ
- 自動車販売（国産・輸入）だけでなく、レンタカー、カーリース等も展開
- 東北・北海道中心に自動車ビジネスネットワークを展開



売上高とセグメント利益(率)の推移 (百万円)



- 1973年の米国現法設立からスタート。成長市場の北米・東南アジアで、商社機能（調達・仲介・販路）を拡大
- 日本製品の輸出入と海外リテール事業強化（スーパーマーケット等）の両面で事業展開
- 近年は積極的なM&Aが奏功
- 北米事業強化に向け、子会社3社を北米現地法人であるKamei North Americaの傘下に統合・再編



貿易事業



米国の
日系スーパーマーケット

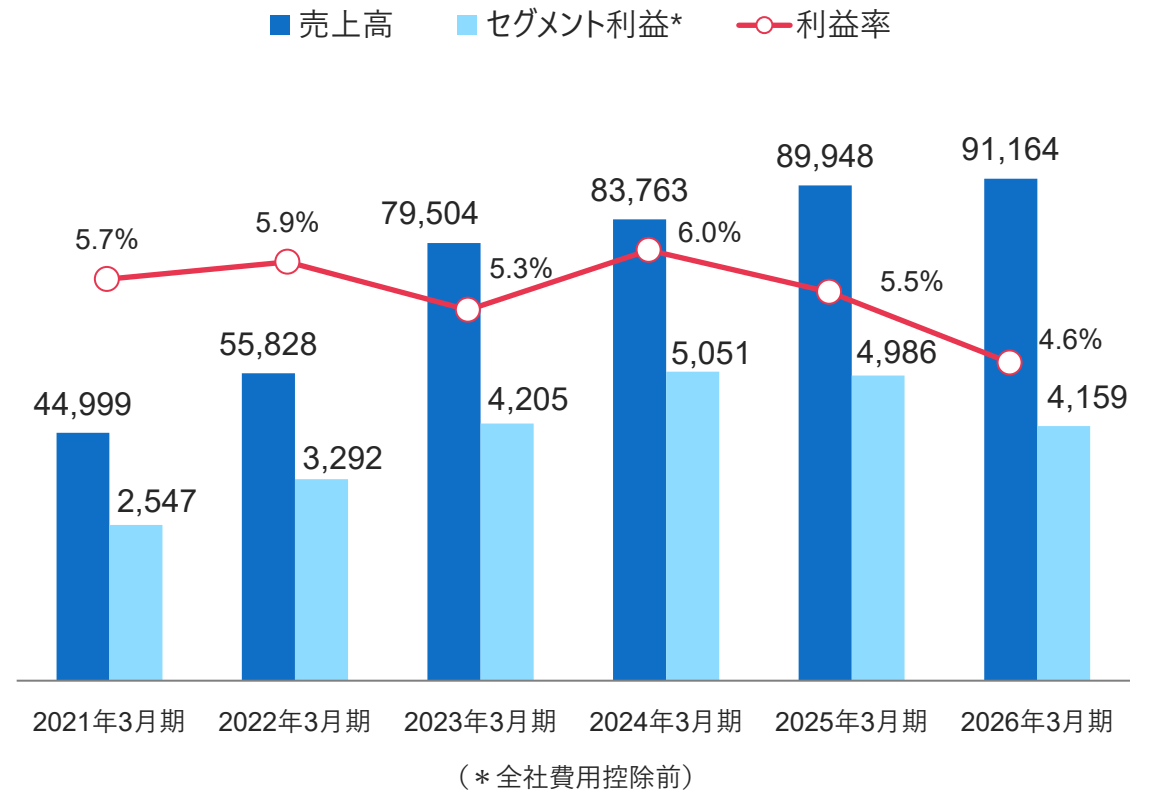


Mitsuwa Marketplace



シンガポールにおける
日本食料品の輸入

売上高とセグメント利益(率)の推移 (百万円)



- 国内貿易会社である <<KCセントラル貿易>> の北米グループ3社を、
北米現地法人である <<Kamei North America>> の傘下に統合・再編し、連結子会社化



地域ごとの戦略的アプローチが可能となることで、北米市場での競争力強化とシナジー創出を推進

- ロサンゼルスで日本食が充実していると評判のスーパー「Mitsuwa Marketplace(ミツワマーケットプレイス)」
- 2012年12月にM&Aにより当社グループの一員となる

- ・ 西海岸エリアを中心に米国全土で13店舗を運営する、全米最大規模の日系スーパーマーケットチェーン

カリフォルニア州	： 9店舗
イリノイ州	： 1店舗
ニュージャージー州	： 1店舗
テキサス州	： 1店舗
ハワイ州	： 1店舗
合計	： 13店舗

(2026年3月末現在)



店舗の外観（サイプレス店／カリフォルニア州）



サイプレス店 OPEN初日の様子



店内の様子

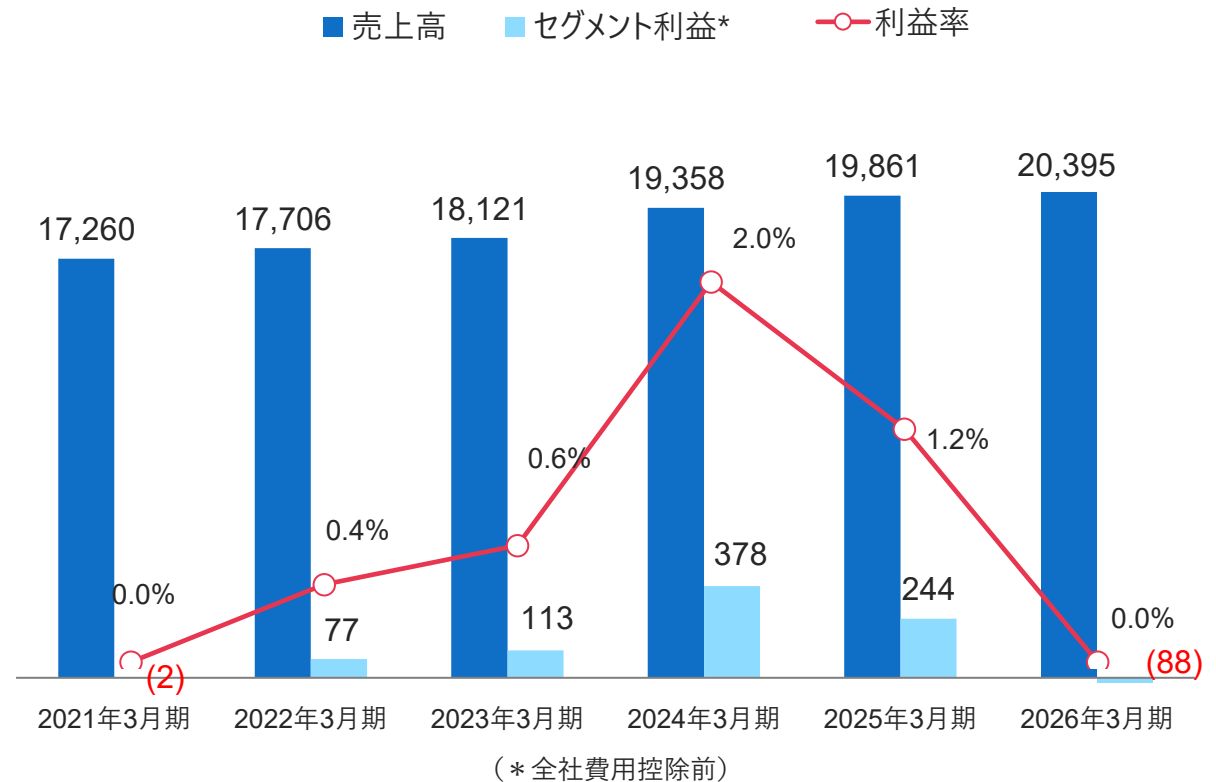


彩り豊かな総菜が並ぶ売り場

- 2000年4月に調剤薬局事業を宮城県気仙沼市で開始
- M&Aを駆使し、関東・近畿・東海圏へ進出。直営57店舗、グループ56店舗の計113店舗を運営(2026年3月末)
- かかりつけ薬局機能、健康イベントの実施を通じ、地域を包括するトータルヘルスケアを推進



売上高とセグメント利益(率)の推移 (百万円)



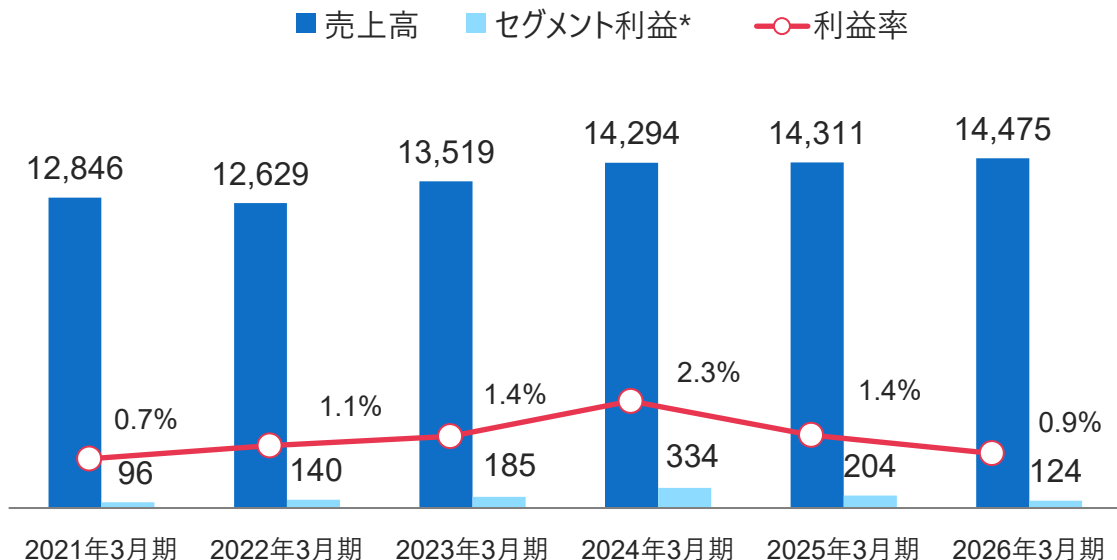
■ ペット関連は国内ブランド取り扱いの他、PB商品の開発・販売拡大を積極化

■ その他、東北を中心に地域インフラを支える物流機能を所有。各種事業・各部門との連携が進む

ペット関連(百万円)



2008年にペット、園芸用品・農業資材を扱うオーシマと小野商事（現オーシマ小野商事）の株式取得でスタート
EC店舗を活用し、全国展開

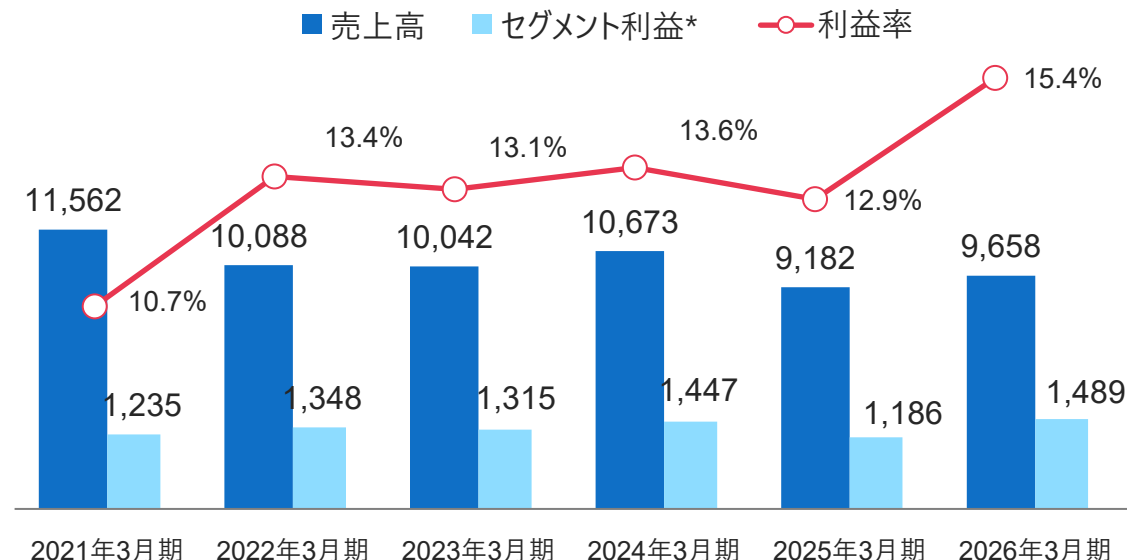


(* 全社費用控除前)

その他(百万円)



東北を中心とする物流子会社を所有、各種リース・旅行代理店業のほか、オフィス商品関連サービス提供、各種保険取り扱い、賃貸業等



03 非財務的価値 への取組み

KAMEI



- 事業ポートフォリオの変化は、時代や顧客ニーズの変化に合わせ柔軟に対応してきた当社の軌跡
- 長期経営方針（ポートフォリオ変革の継続強化、新規事業・成長分野への積極投資など）の実現に向け、更なる変革が求められる



人的資本＝当社の「変革」を恒常的に推進できる源

人材獲得

- 新卒採用プロセスをより進化
(本人志向を踏まえたポジション選定)
- 成長や変革を支える人物重視採用
- 採用ブランディングの再構築



人材育成

- 自律型の人材育成
- 信頼されるセールスパークソン研修、
海外研修、グループ会社人事交流
など多様な育成を実施



人材活躍

- 女性活躍の継続的サポート
(キャリア支援、キャリア意識の醸成)
- ワーク・ライフ・バランスの実現
(年休・育休などの取得促進、看護休暇
などの制度整備)
- 全ての社員がポテンシャルを最大限
発揮できる組織作り
(調査結果に基づく社員エンゲージ
メント向上策の実施など)



- 地域社会との交流を深め、地域の社会活動への参加などを通じて、広く社会貢献に努める
- 社会教育の振興・社会福祉の向上を目的とし、公益財団法人を設立、長年にわたる助成支援により貢献

公益財団法人カメイ社会教育振興財団



- ・ 創業90周年記念として、
1994年9月にカメイ美術館を開館
(財団設立は1995年3月)
- ・ 文化価値だけではなく
「心の豊かさ」を育む施設として

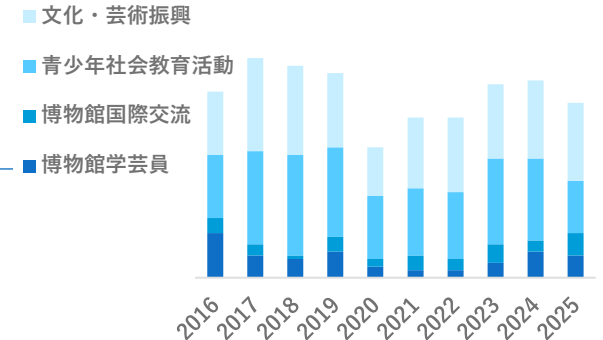


約14,000頭の蝶のコレクションや
東北の文化的財産である伝統こけし、
絵画・彫刻の数々を展示



- ・ 社会教育振興への寄与
直近10年間で約490件の
助成を実施 (2025年度まで)

博物館学芸員等への助成や、
青少年社会活動に対する助成等を
長年にわたり実施



公益財団法人亀井記念財団

- ・ 1981年の財団設立より、
延べ3,913名の奨学生を支援
(2025年度現在)

勉学に励む熱心な学生・生徒、
外国人私費留学生に奨学金の
支給・貸与を行う



- 近年では環境貢献などを意識し、より広いフィールドでの社会貢献活動を実施
- スポーツイベントや文化イベントにも協賛・参加、今後も地域の社会活動を支えていく

仙台うみの杜水族館

- ・ 東日本大震災からの復興のシンボル

2015年7月開館、地域の皆様や子ども達に夢と感動を与える事業に参画



地域スポーツ振興

- ・ 「東北のサッカーをもっと盛り上げたい」カメイカップ U-15東北サッカー選抜大会

1988年の特別協賛・優勝杯寄贈を機に大会名を変え「カメイカップ」が誕生。東北サッカー少年の夢を応援



森づくり事業「カメイの森 宮城」

- ・ 宮城県と森林整備協定

地球環境保全の推進、地域の皆様の憩いの場として親しまれる



スポーツチーム オフィシャルスポンサー

プロ野球



東北楽天ゴールデンイーグルス

サッカーJリーグ



ベガルタ仙台

サッカーWEリーグ



マイナビ仙台レディース

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。
従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



カメイ株式会社

2026年6月

東証プライム

8037

